

# 子どもたちに満天の星空を

## 「さくらピア」で移動式プラネタリウムが登場

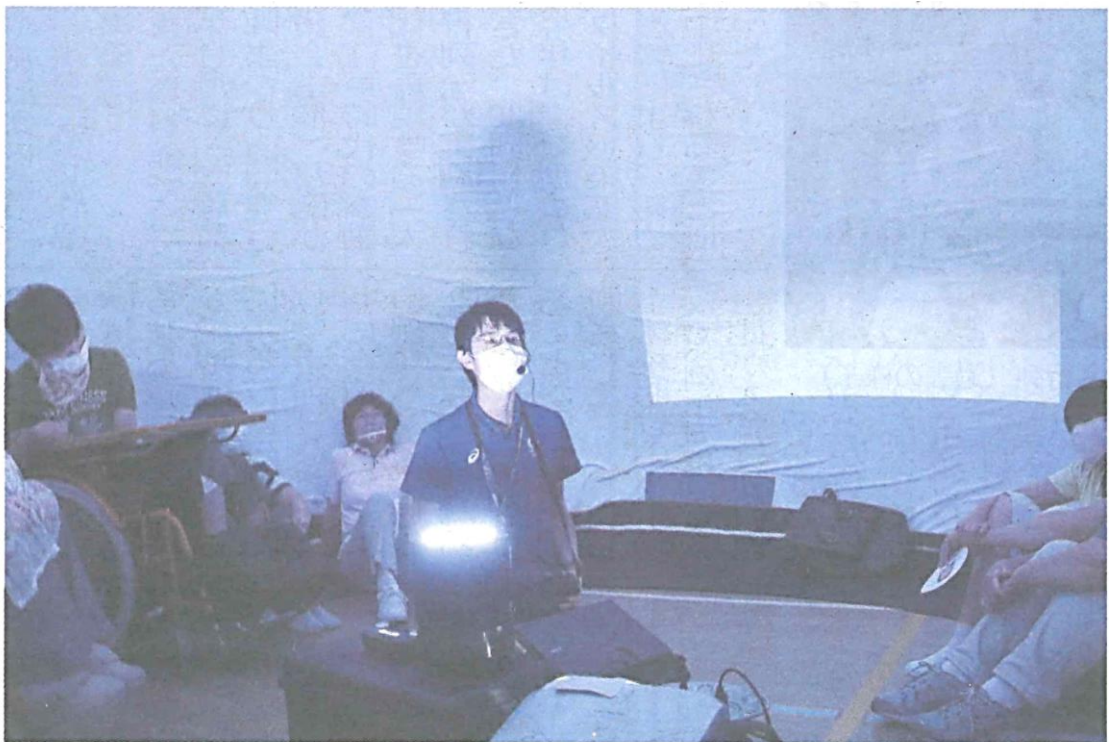
豊橋市東新町のさくらピア（豊橋市障害者福祉会館）は30日、2020障害児余暇支援事業の「さくらピアスクール」で、移動式プラネタリウム星空観察を行った。市内在住・在学の障害児者と親や付き添いの人ら計10人が参加した。

内容は、この日のために制作された30分のオリジナルプログラムで、市教育委員会員の学芸員の杉浦裕紀さん（26）が解説を務め、市視聴覚教育センター天文班のサイエンスボランティア4人がサポートした。参加者は、ドーム内に映し出された満天の星空とスライドを見ながら夏の星座の話を聴き楽しんだ。

杉浦さんは、「センターに来られない方のことを考え、本年度、移動式プラネタリウムを購入した。今後は、病院やさまざまな施設に向き星空を届けたい」と話した。

移動式プラネタリウムは直径5メートル、高さ3メートルのドームで、定員は20人。今回のさくらピアスクールが初披露となった。

（吉富恵子）



ドーム内の星空のもとスライドを見ながら星座の話を聴く参加者たち（さくらピア体育館で）